

八代海における避泊について ～走錨に伴う海難防止のために～

八代海の特徴(海上保安庁発行の九州沿岸水路誌より)

長島、獅子島、天草上島、維和《イワ》島及び戸馳《トバセ》島から成る一連の島群と九州本島との間にある内海で、北東方へ約40海里湾入し、最大幅約9海里、沿岸は熊本、鹿児島県の両県にまたがり、東岸の各所に大工場がある。八代海には多数の小島や暗岸があるが海底はやや平らで、水深は南部において36～54m、北部においては10～45mである。この海域には、操業船が多いので注意を要する。

避泊地	避泊海域の特徴
八代海西岸	樋島北方約1.3海里にある二間戸港沖と、その北隣の姫戸港沖には低質泥の好錨地があり、4,000 t級2隻又は3,000 t級3隻が避泊できる。
八代港 ～ 水俣港	この沿岸は九州山脈が直接海岸に臨む所であるのでおおむね陰しく、岸線は屈曲して多くの湾を形成しているが、全体的に水深が浅く、湾内の大部分が干出する。八代港から南方約2.4海里間の沿岸は遠浅で、距岸約2.5海里の所でないと大型船の錨泊に適さない。



八代海は周囲を陸岸や島嶼に囲まれ安全な避泊地と考えられています
が走錨事例も数多く確認されています。
避泊時には次の事項には十分注意しましょう。

- 1 八代海は各種漁業が盛んです。漁具被害防止のため錨泊海域の漁具の状況を確認の上錨泊することが必要です。また養殖施設も多数存在するため、これらの養殖施設から十分な距離を取りましょう。
- 2 自他船の走錨対応のため、他の錨泊船と十分な船間距離をとり、常時監視体制をとることが必要です。
- 3 国際VHF 16 chの常時聴取をお願いします。
また、AIS（船舶自動識別装置）や船舶電話の電源は切らないでください。
- 4 気象情報を、常時確認し、早めの機関準備等が有効です。
(過去の台風で複数の大型船が、錨泊中機関を併用することにより走錨が止まり事故は発生しなかった事例があります。)

八代海周辺の港で港内避泊する場合、次の港では港則法に基づき、台風や暴風に伴う避難勧告等が発令される場合があります。詳しくは各港の問い合わせ先へ

三角港・熊本港・百貫港・合津港・姫戸港・本渡港・宮岡港・鬼池港・八代港・水俣港・佐敷港 ※赤字は港則法特定港		
台風襲来時	警戒勧告	避難勧告
	風速15m/s以上の強風域が12時間以内に各港に到達すると予想される場合	風速25m/s以上の暴風域が12時間以内に各港に到達すると予想される場合
暴風等異常気象	各港の地域に暴風警報又は暴風雪警報（風速20m/s以上）が発表された場合	
米ノ津港		
台風襲来時	警戒勧告	避難勧告
	風速15m/s以上の強風域が12時間以内に到達すると予想される場合	風速15m/s以上の強風域が6時間以内に到達すると予想され、かつ暴風域に入るおそれがある場合
暴風等異常気象		薩摩地方に暴風警報又は暴風雪警報（風速20m/s以上）が発表された場合

※ 超大型の台風が接近する等の場合は上記を前倒し発令の可能性もあります。

各種お問い合わせ先	南九州における走錨事故防止対策等	第十管区海上保安本部 交通部 航行安全課	TEL 099-250-9800
	三角港・熊本港・百貫港・合津港・姫戸港 本渡港・宮岡港・鬼池港	熊本海上保安部 交通課	TEL 0964-52-3105
	八代港・水俣港・佐敷港	八代海上保安署	TEL 0965-37-1477
	牛深港	天草海上保安署	TEL 0969-73-3194
	米ノ津港	串木野海上保安部	TEL 0996-32-2362